

# 本の上の映画館

2

2016 February

 mediaSeven

特集

# 文学の奏でるメロディー

# 特集 文学の奏でるメロディー

会場：プレゼンテーションスタジオ 定員：100名 入場：無料  
主催：川口市立中央図書館 運営：NPO Community Design Council

- 申し込みは不要ですので、上映当日に会場までお越しください。開場は各日上映時間の30分前です。
- 定員以上の入場はできませんので、ご了承ください。
- 音の聞こえづらい方をサポートする磁気ループシステムを導入しています。Tモードつき補聴器をお持ちでない方には、専用受信機を貸し出します。

2月9日(火) 19:00～(上映時間 110分)

## 『アヒルと鴨のコインロッカー』

大学入学のため仙台に引っ越してきた椎名は、隣人に「一緒に本屋を襲わないか」と持ちかけられる。そんな話に乗る気などなかったが、翌日、書店の裏口に立っていた。すべてが明らかになった時、椎名が見たおかしくて切ない真実とは…。

監督：中村義洋/原作：伊坂幸太郎/出演：濱田岳、瑛太、関めぐみ、松田龍平ほか/2006年/日本/DVD

2月14日(日) 14:00～(上映時間 137分)

## 『ガープの世界』

子どもは欲しい、でも結婚はしたくない。そう考えた看護婦が第二次大戦中、病院で瀕死の軍曹から“一方的に”精液をもらい受ける。これがガープの誕生だ。悲劇と喜劇がかわるがわるやってきて、ちょっと変わった人たちに囲まれた彼の数奇な運命が描かれる。

監督：ジョージ・ロイ・ヒル/原作：ジョン・アービング/出演：ロビン・ウィリアムス、グレン・クローズほか/1982年/アメリカ/DVD/字幕

2月20日(土) 14:00～(上映時間 105分)

## 『テス<1>』

貧しい行商人ジョンは、ある日自分が貴族の子孫だと聞かされ、娘のテスにダーバヴィル家へと向かわせる。ダーバヴィル夫人の息子アレックは美しく勝気なテスを気に入り、力づくで誘惑してしまう。やがて青年エンジェルと恋に落ちたテスは結婚を決めるが…。

監督：デヴィット・ブレア/原作：トマス・ハーディー/出演：ジェマ・アータトン、エディ・レッドメインほか/2008年/イギリス=アメリカ/DVD/字幕

2月24日(水) 19:00～(上映時間 106分)

## 『テス<2>』

結婚後、テスが自分の過去を打ち明けると、エンジェルは失望してブラジルへ去ってしまう。ひとり置いていかれたテスは再びアレックと出会い、身をまかせて苦悩の日々を送る。そしてエンジェルと再会したテスは思いがけない行動をとってしまい…。

監督：デヴィット・ブレア/原作：トマス・ハーディー/出演：ジェマ・アータトン、エディ・レッドメインほか/2008年/イギリス=アメリカ/DVD/字幕

※「本の上の映画館」1月号でお知らせしておりました『ボヴァリー夫人』の上映予定が『アヒルと鴨のコインロッカー』に変更になりました。ご了承ください。

川口市立映像・情報メディアセンター  
メディアセブン

〒332-0015

埼玉県川口市川口1-1-1 キュボ・ラ 7F

◎開館時間 月-金 10:00-21:00 / 土日祝日 9:00-18:00

◎休館日 毎月第3金曜日(機器調整日)、12月29日-1月4日

◎お問い合わせ Tel. 048-227-7622 Fax. 048-226-7724

◎URL <http://www.mediaseven.jp>

## The answer is blowin' in the wind

今月の本の上の映画館では、小説が原作となった作品を特集します。

『アヒルと鴨のコインロッカー』は伊坂幸太郎の同名小説が原作。現在と過去が上手くちりばめられた青春ミステリーに、ボブ・ディランの「風に吹かれて」がよく合います。

次にジョン・アービング原作の『ガープの世界』です。たくさんの人物が次々に登場し、たくさんの出来事が起こります。ガープの人生を通じて、人生は滑稽であり複雑であることを知ると同時に、平凡も特異も無いことを思わせてくれます。

『テス』はトマス・ハーディー原作をモチーフに、BBC(英国放送協会)でドラマ化されたものです。前編と後編の2回にわけて上映します。この小説はさまざまな訳書が出たり別の監督により映画化されたりと、1891年の出版以来長く題材として取り扱われています。人が運命の力に動かされ苦悩していく様を描くことを特色とした作家として知られており、原作「ダーバヴィル家のテス」は19世紀のヨーロッパ社会を批判したものとして問題作になりました。

小説をじっくりと読むことはもちろん素晴らしい体験ですが、映画でしか感じ取ることのできない表現というもの、きっとあるはず。今回の特集作品には、小説が楽譜となり監督が指揮者となる、そんなオーケストラのような構図も浮かび上がります。

原作を先に読むか、映画を先に観るか。今月はいつもとちがった楽しみ方もあるかもしれません。

## 3月の上映予定

11日(金) 19:00～『ウィークエンド』

19日(土) 14:00～『ウディー・ガスリー わが心のふるさと』

27日(日) 14:00～『ラテンアメリカ 光と影の詩』

30日(水) 19:00～『さすらい』

